

第一回 朝読書が始まります

期間 未定（後日お知らせします。）

時間 8時20分～8時30分（10分間）

朝読書の4原則

- ①みんなで読もう！ ②毎日読もう！
- ③好きな本を読もう！ ④じっくり読もう！

※雑誌やマンガ以外、読みましょう。

※本は前もって準備しておきましょう。



世界的に注目された グレタ・トゥーンベリ！！

グレタはスウェーデン出身の17歳の環境活動家です。

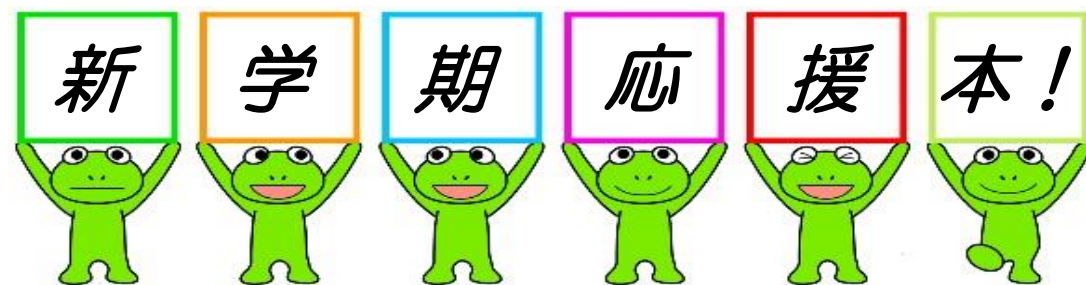
「グレタ たったひとりのストライキ」

本書は、グレタと家族が書いた本で、彼女が活動を行うきっかけになった自閉症スペクトラムの障がいのことや、2018年に実施した“気候のためのストライキ”などの活動について紹介しています。障がいを持つ彼女を心配しながら、考えを尊重して見守り、協力している家族の姿が伝わってきます。

「グレタのねがい」

自分たちの未来のために、権力をもつ人たちの無関心と戦い、声をあげる活動は今なお続いています。

そんなたく
付度なしで気候危機を訴える力強い言葉が心に刺さるでしょう。



自分の道を切り開くための、

知識を得られる、本を紹介します！

「人生の歩きかた図鑑」 石井光太著

”子どもの悩み”に向きあった、将来が不安な子どものための進路&職業図鑑！

「本当の頭のよさってなんだろう？」 齋藤孝著

一生使えるものの考え方を身につけて、頭のよさを磨いていく方法を伝授。

「未来を生きるスキル」 鈴木謙介著

「社会の変化は感じるが、じゃあどう対応したらいいの？」どうしようもない不安や不遇感に苛まれている人たちへ。本書は今、伝える「希望論」であり、どのように未来に向かえばいいのかを示す1冊。

「何のための教養か」 桑子敏雄著

すぐれた選択を導く知、思慮深さとは何か、考えてみよう。

「宇宙から帰ってきた日本人」 稲泉連著

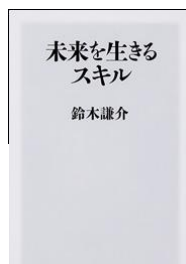
日本人宇宙飛行士全12人の証言！

「きみを変える50の名言」 佐久間博著

各界で活躍する著名人たちを中心に、彼らがつむいだ名言をわかりやすい解説とともに紹介。

自分を見つめ直し、前に進む勇気。未来に向かっての努力や夢などの名言。

※ぜひ、図書館へ



新学期を応援してくれる本



- 1年生のみなさん、新しい環境にワクワク、でも、不安や戸惑いも感じるよね！
- 2年生のみなさん、最上校の代表として、いろいろな場面で頑張ろう！！
- 3年生のみなさん、いよいよ、進学・就職に向けてGO！！！！



新たな気持ちで新しい学年を迎えたい。
そんな高校生におすすめの本。

「リラックスのレッスン」 鴻上尚志著

大勢の前で 自己紹介、大事な仕事のプレゼン、会社の面接、
人前で話すのが、うんと楽になる！

「瞬間声トレ」 司拓也著

「声がこもる」「声が小さい」「滑舌が悪い」こんな
声の悩みを全て解消！

「あなたの不安を解消する方法が ここに書いてあります。」 吉田尚記著

他人とのコミュニケーションに不安を感じる全ての人に向けた
吉田式「不安解消メソッド」

「やばいほど日本語知らないんだけど」 前田安正著

表現力やコミュニケーション力がつき、常に身近に置いておきたい、
とっても役に立つ日本語集です。大人としてこれだけは知らないと

ヤバい、恥をかく、語彙力アップ！

「英語、苦手かも？と思ったときに読む本」 デイビット・セイン著

学校では教えてくれない、現場で役立つ英語との付き
合い方を、一緒に身につけよう。

きっと意識が変わるはず！



踏みとどまる力、つらさを

やり過ごすテクニックを教えてくれる本。

「脱・呪縛」 鎌田實著

チェルノブイリやイラクなど、待ったなしの命うごめく現場で、生身
で感じ得た「生きる意味」を、そのために必須の「呪縛から脱する力」
を、十代に向けて厚く真摯に語る。

「泣いたあとは、新しい靴をはこう。」

ままならない人間関係、経済的な苦しさなど、いま、
逆境のただなかにいるティーンズの悩みに、10代の
どうでもよくない悩みに、ペンクラブ作家が言葉をも
って向き合います。

「心の疲れをとるコツ」 植西聡著

“心が元気になる”をテーマに、対人関係が健康であれば心も健康
であり、対人関係に自信があれば人生にも自信がもてる。疲れた心に
ずっと染みわたる。いつもそばに置いておいて、ふとしたときに何度
も見返したくなるような、癒しの一冊。

「空気を読んでも従わない」 鴻上尚史著

どうしてこんなに人の頼みを断るのが苦しいのか。
どうしてこんなに周りの目が気になるのか。

どうしてこんなにラインやメールが気になるのか…。

「静かな力」 スーザン・ケイン著

自分がおとなしい性格や引っ込み思案だからと言って引け目を感じ
る必要はありません。実際にいろいろな分野で、成功を収めた人は内
向的な性格の人が多いのです。

「どうせ無理」と思っている君へ 植松努著

自信を持てない人に向けて優しく語りかけてくれるような本です。
人は、生まれた時は「自信」を持っているのです。もし、自信をなく
しているのであれば、本書をオススメします。

「どん底からのからの甲子園」

「どん底」にしながら甲子園に出場した6校を取材した。野球を心から愛する情熱を
持った指導者が着任、指導することで選手たちと化学反応を起こしていく。

